

819





たのしい

大合戦

よし席志

松小二種の鬼斬りより一種を号して丹波鬼斬りといふは
 松大のよき色おひまり壹度おひわら小松のよき
 松小のよきと確りておひおひのよき墨のよきつるハ生捕り
 荒熊のよきおひられまき赤一種を干生鬼斬りといふ
 丹波鬼斬りの盛んたるも勢ハ危小松のよきと水
 山崎のよきおひおひと山崎のよきおひおひと

松昌久閑人記

河津秀吉



月も又陽も射し
屋の帷子方巻
後軍と云う
おのれ今岸村母の
く秀吉小進歩下り

石田左吉

石田左吉
出陣は先矢の
西と陣力の
石田左吉
秀吉を
おのれ今岸村母の
く秀吉小進歩下り

石田左吉



つら共抱まん
りのと家被
おのれ今岸村母の
く秀吉小進歩下り

今岸村母

左吉が母功を
おのれ今岸村母の
く秀吉小進歩下り

おのれ今岸村母の
く秀吉小進歩下り



まる男
 秀秀が助の
 影さすかお
 舞うるおそかと
 けいふあまを
 傳唐あまも
 お海あまを
 よもあまを
 たあらん
 けいふあまを
 まる男



山崎の一戦りして秀秀己小治死と
 免格立しと溝尾殿を捕ら追ふ
 青巻
 なる小
 武智日向守光秀
 今八坂本小引取んと
 山崎八坂村小
 中
 なる若秀
 秀秀を城
 をあつ国士を
 秀秀と小治と
 二竹倉を
 仙て実出せお
 天を道と四



此木田勝家の
 威を恐れ敵を事なす者なりと
 云ふは
 徳を院にて梳香の
 名を
 りれ方の罪を
 佐久間文番

佐久間文番

此木田勝家



福馬正綱
 の
 羽此水秀吉

秀吉自ら事なすありて
 此木田勝家の
 徳を院にて梳香の
 名を
 りれ方の罪を
 佐久間文番

羽此水秀吉

福馬正綱

佐久間文番



▲ 佐々木 盛政 佐々木 盛政 佐々木 盛政
 佐々木 盛政 佐々木 盛政 佐々木 盛政
 佐々木 盛政 佐々木 盛政 佐々木 盛政

佐々木 盛政

佐々木 盛政 佐々木 盛政 佐々木 盛政
 佐々木 盛政 佐々木 盛政 佐々木 盛政
 佐々木 盛政 佐々木 盛政 佐々木 盛政



▲ 中川 清秀 中川 清秀 中川 清秀
 中川 清秀 中川 清秀 中川 清秀
 中川 清秀 中川 清秀 中川 清秀

中川 清秀

中川 清秀 中川 清秀 中川 清秀
 中川 清秀 中川 清秀 中川 清秀
 中川 清秀 中川 清秀 中川 清秀

